

自転車利用実態定点調査報告

平成26年10月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成26年9月18日(木)
[午前]8:00~8:30

調査場所 ・ 東京学園高校前(私立・男子校) (目黒駅西口から約2km)
概要 ・ 調査対象(高校生の自転車通学実態)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査票

No.	走行空間				車種		雨天		危険運転行為							
	車道右側	車道右側	車道中央	車道	片手運転	電動	傘	高物	片手運転	立ち漕ぎ	肩に荷物	ハンドルに荷物	過重積載	並列	背中	その他
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時： 平成 年 月 日 ()
天気： 曇
調査時間： 時 分 ~ 時 分

＜調査票＞

【コメント】

- ◎走行空間においては、左側車道走行率は、67%と約 7 割の結果であった。
- ◎危険運転行為は、片手運転(19 件)・立ち漕ぎ(6 件)・肩に荷物(3 件)・ハンドルに荷物(1 件)・過重積載(1 件)の順となっている。その他として(並列・背中に荷物など)計 12 件あった。

【総合】

今回の調査は、高校生の自転車通学の実態を調査したものであり、一般の人と比較して高校生が自転車のルール・マナーを遵守して利用しているかの判断基準となりうるものである。

同校の生徒においては、左側通行遵守者が多く、右側通行や並列運転等をしている生徒に対しては、校門前にて生徒指導担当の教諭により、口頭で左側通行や一列走行の指導が行われていた。

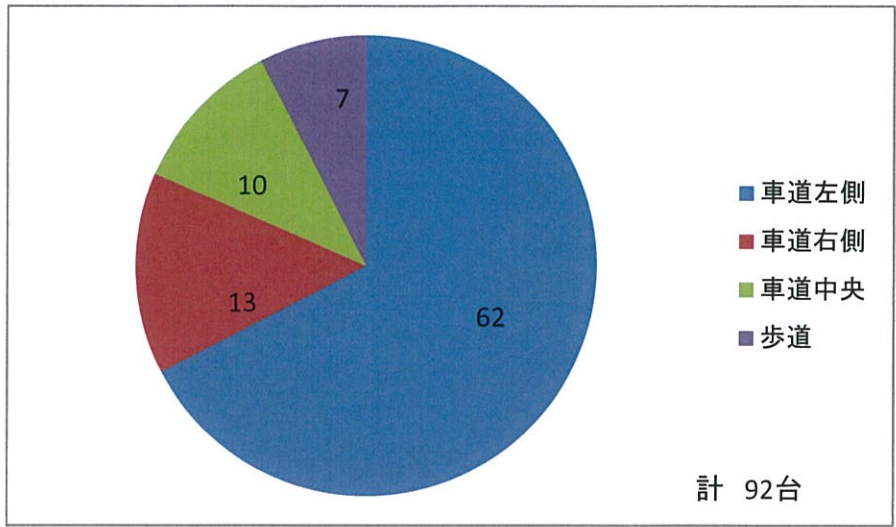
しかし、左側通行者であっても校門直前での左右や後方確認をしている生徒は、一部であった。

さらに登校時間が 8 時 20 分までとなっているため、直前 2~3 分前には、多数の生徒が校門を目指す状況となっていたため、事故防止の観点から時間に余裕を持つての通行が望ましい。

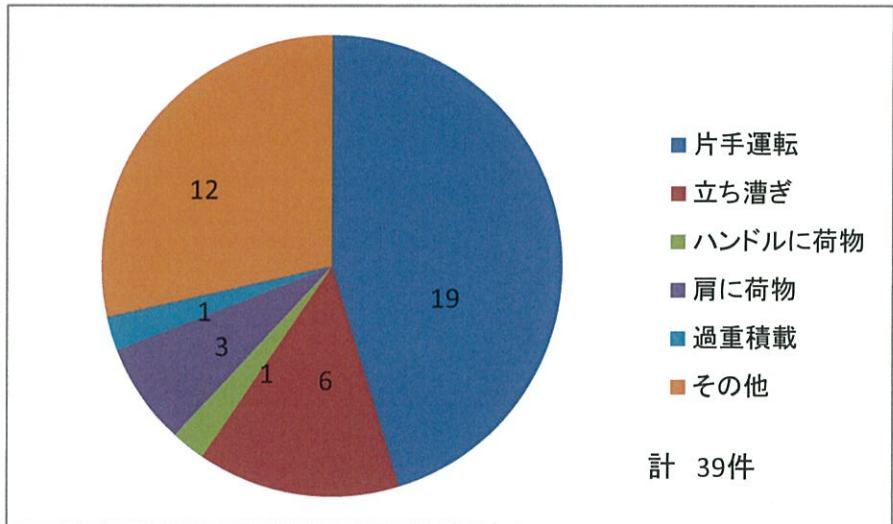
因みに、同校での自転車通学の割合は、全校生徒(総数 400 人)の 3 割強である。

また、同校では、年に 2 回(4 月に新入生を対象・10 月に全校生を対象)目黒警察署より自転車に関する交通指導を受けている。

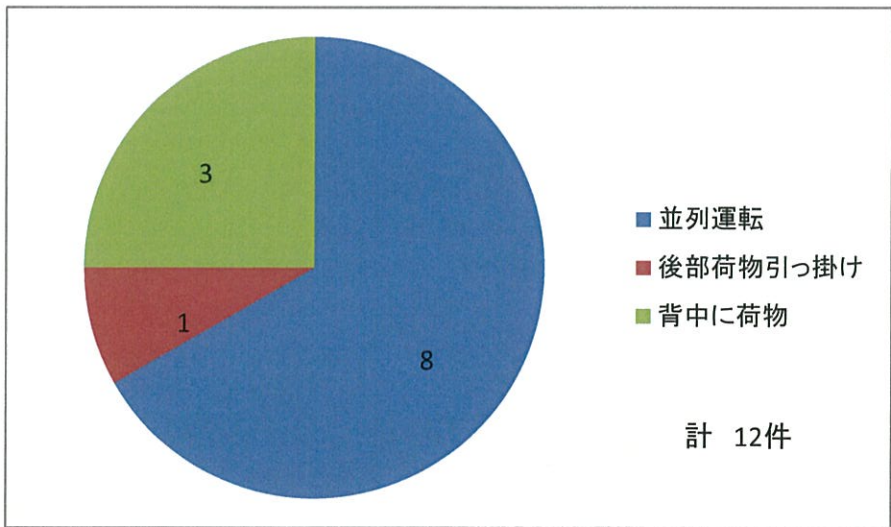
なお、同校は、閑静な住宅地内に存在し、校門前の車道は、ゾーン 30 に指定されていた。



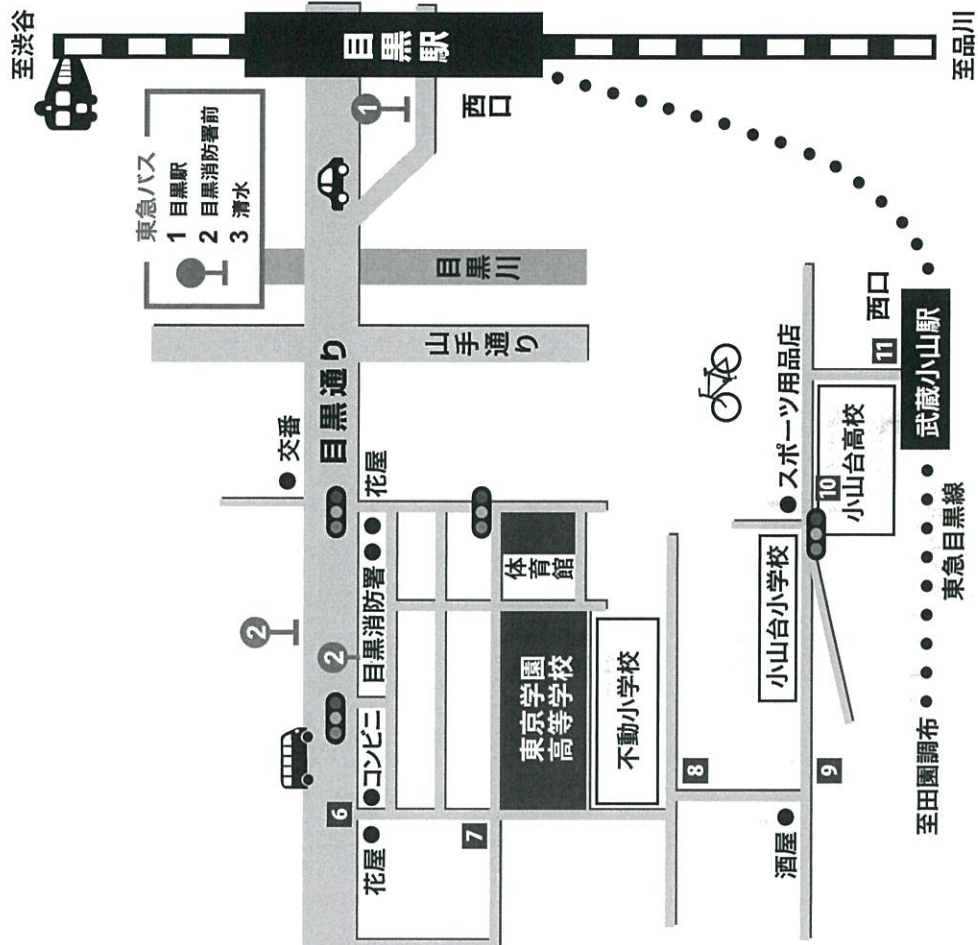
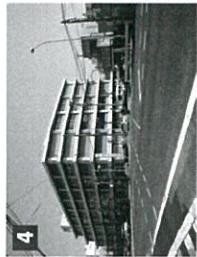
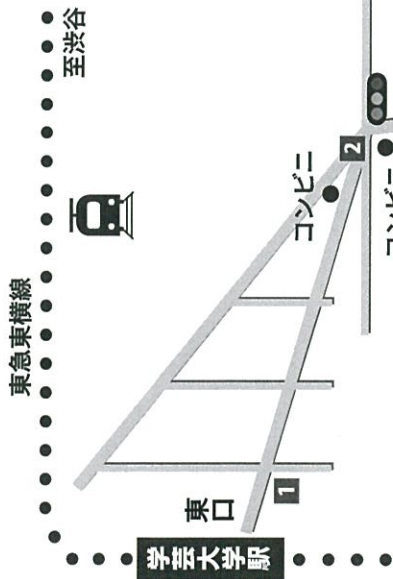
走行空間



危険運転行為



その他の危険運転行為内訳



東京学園高等学校

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-12-25
 TEL: 03-3711-6641 FAX: 03-3711-6610

- JR線、目黒線、三田線／南北線 目黒駅西口より【バス】大岡山小学校行き目黒消防署前下車徒歩3分
- 東急東横線 学芸大学駅東口より徒歩15分
- 東急目黒線 武蔵小山西口より徒歩15分